

# 第57回 在宅ケアネット渋川 講演会レポート

〔日時〕 3月10日(木) 19:00~20:30 〔会場〕 プレヴェール渋川

渋川地区在宅医用介護連携支援センター  
在宅ケアネット渋川講演会



治らないのは訳がある  
正しいケア・外用薬の使い方  
～ノウハウ満載の古田メソッド～

医療法人愛生館 小林記念病院  
褥瘡ケアセンター  
国立長寿医療研究センター研究員  
古田 勝経

職 種	人数(人)
医師、歯科医師、薬剤師	3
看護師・保健師	4
PT/OT/ST	5
(管理)栄養士	1
ケアマネジャー	1
介護員	1
事務(行政含む)	2
合計	17

Web参加 19ヶ所

褥瘡が治らないのは  
治していないから！

- あなたのケアは正しいですか？
- 思い込みはありませんか？
- 多職種連携が不可欠で知っていますか？
- 局所治療の良否が分岐点になる？

チーム医療で  
費用を安く！

## 費用対効果の検討

	医師・薬剤師 看護師関与群 (n=199)	医師・看護師 関与群 (n=50)
総経費	9747±17086	9949±5608
人件費	14379±11855	53071±37158
敷設費	24125±26381	62121±41553
DESIGNの減少点	5.4±3.1	1.9±4.4
DESIGNの減少点にかかる総経費 (円/DESIGN 点数)	2,637	3,310
DESIGNの減少点にかかる人件費 (円/DESIGN 点数)	4,072	21,439
DESIGNの減少点にかかる敷設費 (円/DESIGN 点数)	6,709	24,549

← およそ 4 倍 →

古田勝経氏、医師・薬剤師・看護師による連携チーム医療の経済的効果に関する発表、日本病院管理学会、(190)、15-22(2013)



講演資料より抜粋

「褥瘡が治る事を知ってほしい」という先生の熱意が伝わってくる講演でした。副題の通りノウハウ満載・事例満載で、いつもより長めの90分講演でしたが最後の方は駆け足になってしまい、残念でした。また、ゆっくり解説していただく機会があれば良いですね。(実はまだ紹介したい事例があるそうなんです。)個人的には、褥瘡にも薬剤にも詳しくないですが、「エキスパート・F・ブレンド」が気になりました。効果的に薬を組み合わせることによって劇的に治っていく様子がよく分かったと思います。気になった方はぜひ先生の講演をご覧ください。

〔参加者の感想 (一部抜粋)〕

☆病院勤務医も含めての医師に聞いてもらいたい講演でした。看護師は処方できないので。

〔参加者の感想 (一部抜粋)〕

☆薬剤の混合の仕方、選び方などより実践的な内容で面白かったです。また、いくら良い処置を行えたとしても基本的な除圧や皸などを対処しなければ創部の改善が見られないことも再確認できました。DM患者は先入観から治療しづらいと思っていましたが連携した治療を行うことで改善している画像は今後の励ましになりました。今後DMで褥瘡を患った方を目の前にしてもポジティブな気持ちで治療に参加できると思いました。

☆難しい内容が多かったが、利用者様にあてはまる事例や使用している薬が分かり良かった。老人の皮膚が伸びる事、良くならない理由となる事が分かり良かった。原因を知り、正しい姿勢にすることが大切な事や、栄養状態だけのせいになっていたこともあり、納得することができ理解できた。